

社外取締役メッセージ

Sustainableな 社会の実現へ

社外取締役

光成 美樹
Miki Mitsunari



株式会社船井総研ホールディングスは、中核となる株式会社船井総合研究所が実施する中小・中堅企業向けコンサルティングをはじめ、物流やIT化、採用支援など、中小企業の経営拡大と経営効率の改善に向けた事業を推進し、日本経済の根幹を支える中小企業の経営を支援しております。

創業者の船井幸雄元会長は、生前、長所伸展による本物志向と共に、人や自然との調和や共生を説かれ、時代に先駆けて日本経済をけん引する中小企業の経営者へのコンサルティングを実施してまいりました。

現在、世界的に広がる気候変動の影響や資源の偏り、経済格差等を是正していくため、企業活動においてもESG (Environment環境、Social社会、Governanceガバナンス) に配慮した経営が求められるようになっていきます。また、



国際的には2030年に向けて持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals, SDGs) という指標に整理され、日本国内でもこの取り組みを進める企業が増えているほか、2050年に向けた脱炭素化の方針が示されたように、気候変動に対応するための取り組みも求められています。

企業が、その財務面だけでなく、社員や地域社会全体にとっても良い経営を進める考え方は日本にも古くからあり、とりわけ近江商人の「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし) の考え方があります。

船井総研グループでは、特に中核事業会社である株式会社船井総合研究所において、中小・中堅企業に向けた事業を通じ、その経営理念の背景にこうした考え方が基盤にあり、これにより今日の事業基盤を創ってまいりました。より時代に沿った方針に拡充するため、2020年10月にESG経営における基本方針を策定し、今期から環境や人事等の情報を拡充した統合レポートを発行することになりました。

すでに再生可能エネルギー、住宅、介護福祉分野を含め、コンサルティングを通じて日本の社会的課題の解決を後方支援する役割を担っていますが、今後、コンサルタントやグループ各社の役員・社員がよりこうした意識を持つことにより、新たなソリューションが生まれることを期待します。上場企業として求められる様々な取り組みや開示事項も増えていきますので、引き続き、ダイバーシティや透明性の向上等を進め、より魅力的な組織として、中小・中堅企業の模範となるような企業グループとして発展して頂けるように努めて参ります。